

新年度への 提言

ふるさと納税の独自戦略を

萩原宏紀委員…米の需要などによる変動もある中、自治体間の競争も激しくなるため、本町独自の戦略を考えては。

財政課長…令和8年度から担当職員を配置し、返礼品の開発など寄附額の増加に向けた取り組みを開始しました。また、中間代行業務の町内完結に向け(株)多古と協議を進めています。



町の魅力を全国へ

ゼロカーボンの具体策を

菅澤博隆委員…町民に向けた具体的な取り組みはまだ示されていないため、ゼロカーボンに向けた対応策を町として考えては。

生活環境課長…現時点では町民に具体的に取り組んでもらう内容は計画に盛り込んでいませんが、今後どのようなことができるか推進協議会で検討していきます。

協力隊の活動を 地域に分かりやすく

佐藤利治委員…地域おこし協力隊であることが分かるよう、名刺の扱いを統一しては。

企画政策課長…特に統一していませんが、地域おこし協力隊と分かった方が地域との交流が進むと思うので、隊員に呼びかけます。

決算審査は予算執行の結果を審査するとともに、その結果から把握した改善、反省すべき点を次年度以降に活かすものです。ここでは、決算審査特別委員会における指摘・提案内容の一部をお伝えします。

デマンドタクシーの利用促進を

飯田良一委員…利用時間帯の分散を図ることや、相乗りしやすい車両の工夫など、利用者目線で改善を図るとともに、コスト低減についても検討しては。

企画政策課長…午前に集中する予約を午後へ移すため、チラシなどで利用を促します。また、より利用してもらえる契約方法について事業者と協議します。



便利で快適なデマンドタクシーへ

防災情報をより分かりやすく

勝又一徳委員…災害情報を必要な時にすぐ確認できるよう、ホームページのリンクや情報のアクセス方法を見直しては。

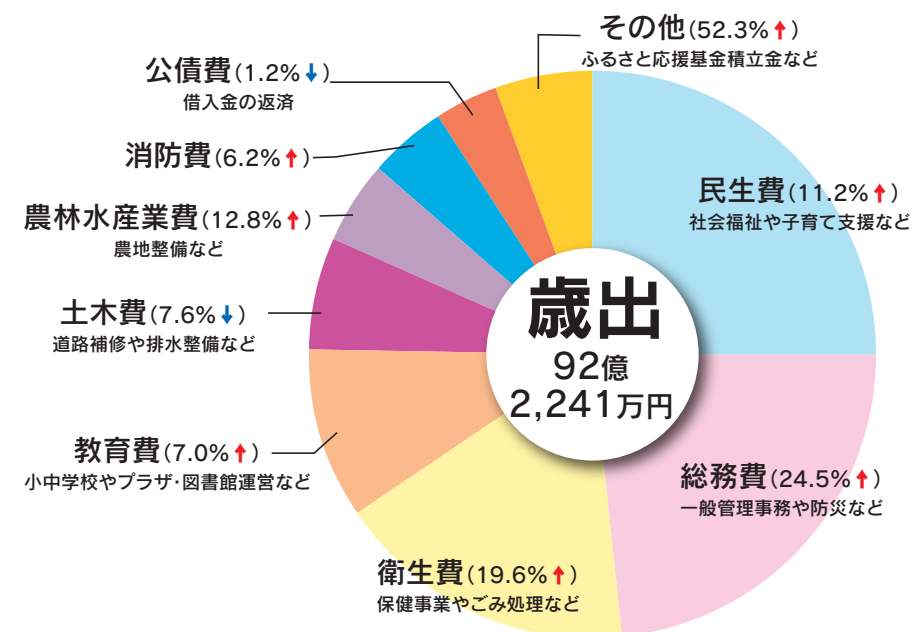
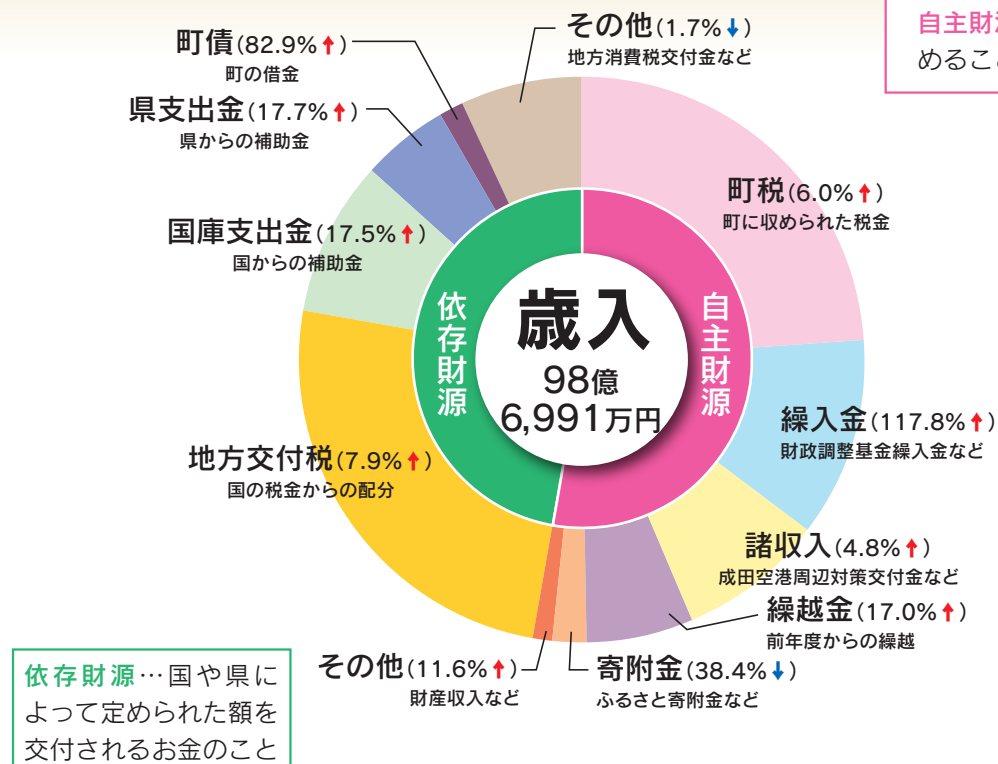
総務課長…より早く、視覚的に、簡単に必要な情報へアクセスできるホームページの作成に配慮し、情報更新にも細心の注意を払います。



災害への備えを万全に

令和7年度

一般会計決算のあらまし



監査委員の意見 柔軟で効率的な行政運営を

- 財政運営は楽観視できない状況だが、町税などにおける収納方法の多様化などの成果も現れている。
- 今後も世の中の変化に対応できるよう、デジタル化推進に率先して取り組み、事務の効率化と利便性の向上を図り適切な対応に努められたい。

町の財政状況は？

自立力は？

自主財源比率 **53.1%** (↑1.5%)

歳入全体に占める自主財源の割合。

財政力は？

財政力指数 **0.537** (↓0.002)

県内町村平均 0.49

数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。

余力は？

経常収支比率 **92.8%** (↑0.9%)

県内町村平均 89.2%

地方税・普通交付税のような経常的収入のうち、人件費・公債費のような経常的な支出に充当された割合。数値が低いほど財政の弾力性が高く、余力がある。

借入金の負担度は？

実質公債費比率 **5.8%** (0.0%)

標準財政規模に対して借金返済に支出された額の比率。*早期健全化基準は25%で、本町は基準以下のため支障はない。

※早期健全化基準…財政の健全性を判断するための基準。この基準を超えた地方公共団体は財政状況が悪化している財政健全化団体となる。

町民1人あたり基金高は？

7年度末 **115,194円**
(財政調整基金のみ)

町民1人あたり地方債現在高は？

7年度末 **207,943円**
(地方債：町の借金)